


テーマ『心新たに 一燈照隅』

第54代会長 照木 信久



 2019-20年度（54年度）所感

国分寺市は歴史ある街です。

聖武天皇は741年国の安定と人々の幸福を祈るため、全国に国分寺と国分寺尼寺を建立しました。同年代の西暦700年代に空海と最澄は遣唐使として中国に渡りました。最澄は『一燈照隅・万燈照国』のこぼを唐から持ち帰り教をを広めました。


ちょうど元号が平成～令和に変わる年で心新たに心機一転を心がけました。

私のライフワークはジャズ演奏で半世紀続けていましたので、忘年例会、新年会で知り合いのプロジャズミュージシャンと共にトランペットを演奏し、皆様に楽しんでいただきました。

脳梗塞を患ったため、会長職拝命を断りましたが、レストランで沢山のパスト会長に取り囲まれ、会長職を受諾するよう説得されました。ノーと言えないロータリアンを初めて実感しました。

そして、国分寺市商工会で同じ役員だった井口さんに電話し、幹事を引き受けていただきました。井口さんのお陰で会長職を全うでき感謝一杯です。

残念だったことは、コロナが蔓延し後半の例会は開催できませんでした。会長就任前に会長の時間の原稿を準備していましたが、半分はお話しできませんでした。

 活動記録

